

チャイコフスキー
バレエ音楽

Vol.10

「白鳥の湖」^{**}

Op.20
～ハイライト～

チャイコフスキー
イタリア奇想曲 Op.45

チャイコフスキー
ピアノ協奏曲第1番
変ロ短調 Op.23*



管弦楽 セントラル愛知交響楽団



指揮

松尾 葉子
(特別客演指揮者)

ピアノ

務川 慧悟*

ナレーション

日比野 正裕**



©Yuji Ueno

2025.5/18(日) 14:30開演
(13:45開場)
14:10～プレトーク

愛知県芸術劇場 コンサートホール
TEL(052)971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩5分)

チケット料金(税込)／全指定席(未就学児入場不可) 発売日 一般 2/19(水)10:00～<会員先行2/17.18>

S席5,000円(ペア席7,000円)・A席4,000円(ペア席5,600円)・B席3,000円・C席2,000円 / U25 各席半額〔ペア席対象外〕

※ペア席は前売のみ、数量限定。 ※U25は公演当日25歳以下対象・入場時要証明書

※車椅子席は当団事務局のみの取扱い。
※当団会員様は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能。
〔当団事務局・チケットシステムでの購入時、ペア席・U25は割引対象外〕
※演奏順不同。やむを得ない事情で公演の中止または出演者・曲目が
変更になる場合がございます。

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団
TEL052-581-3851 <https://www.caso.jp>
(10:00～17:30 土日祝休) ※チケットはホームページからもお申込み
いただけます。



主催／公益社団法人セントラル愛知交響楽団
後援／愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

プレイガイド

・愛知芸術文化センタープレイガイド TEL052-972-0430
・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 287-408]

セントラル愛知交響楽団 超! 有名曲シリーズ

Vol.10

《迫力の舞台》

チャイコフスキーといえば美しく華やかなバレエ音楽が有名です。中でも最も多く上演されているのが「白鳥の湖」ではないでしょうか。舞台の素晴らしさ、バレリーナの技巧レベルの高さは勿論、そこに流れる音楽だけを聴いても感動することができます。ナレーションを加えて豪華な舞台をイメージしていただける演奏会です。そして超絶技巧の「ピアノ協奏曲」を務川慧悟さんが奏でます。「イタリア奇想曲」とともに目を見張るようなオーケストラの情熱的な演奏をご覧ください。

セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者 松尾葉子

指揮:松尾 葉子 (特別客演指揮者)

Yoko Matsuo

1982年フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年二期会公演の『メリー・ウイドウ』を指揮してオペラデビュー。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンサートヘボウにて「ヴェルディ:レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。著書「指揮者にミュージックが微笑んだ」(2003年論創社)、「指揮者、この瞬間」(2008年樹立社)がある。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年~2020年まで愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、プザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者。トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ創立名誉指揮者。2022年から「超!有名曲シリーズ」のメイン指揮者に就任。
公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>

ピアノ:務川 慧悟

Keigo Mukawa

2021年世界三大コンクールの一つである、エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位受賞。2019年にはフランスで最も権威のある、ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位受賞。長い歴史と伝統のある2つの国際コンクールの上位入賞で大きな注目を集め、現在フランスを拠点に協奏曲、ピアノソロ、室内楽と幅広く演奏活動を行っている。レパートリーはバロックから現代音楽まで幅広く、各時代、作曲家それぞれの様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また現代のピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組み造詣を深めている。第33回日本製鉄音楽賞受賞。第33回出光音楽賞受賞。

管弦楽:セントラル愛知交響楽団

Central Aichi Symphony Orchestra

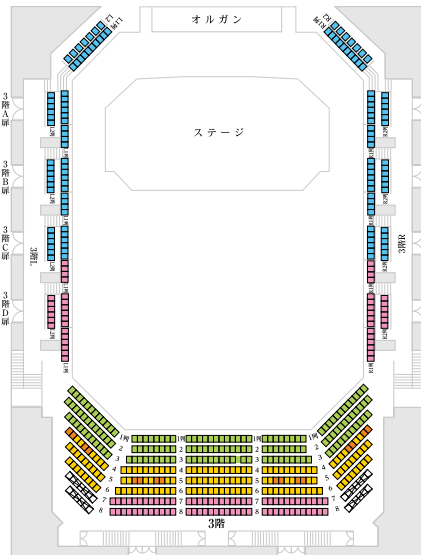
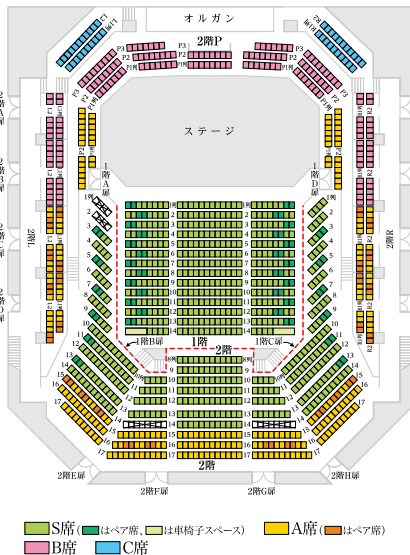
1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年40周年を迎えた。2024年4月より名古屋出身の角田綱亮が音楽監督に就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」等のシリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を取める。



客席のご案内

1・2階席

3階席



セントラル愛知交響楽団 超! 有名曲シリーズ

■ Vol.11

2025.7/5(土) 14:30開演

指揮/松尾葉子(特別客演指揮者)

ヴァイオリン/大谷康子*

メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」序曲ホ長調
Op.21, MWV P 3

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲ホ短調
Op.64, MWV O 14*

サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲第3番ロ短調Op.61*

一般発売 3/26(水) [会員先行3/24.25] 10:00 ~

■ Vol.12

2025.10/18(土) 14:30開演

指揮/松尾葉子(特別客演指揮者)

オルガン/吉田文*

ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」組曲
(1919年版)

サン＝サーンス:交響曲第3番ハ短調Op.78, R.176
「オルガン付」*

一般発売 6/25(水) [会員先行6/23.24] 10:00 ~